

胃がんリスク検査（ABC分類）

健康管理番号 11111

受診日 2022/4/1

氏名

A B C 分類とは、「ペプシノゲン検査」と「ヘリコバクター・ピロリ抗体検査」の2種類の組み合わせによって、「胃の健康度（胃がんのリスク）」を調べる検査です。

検査項目	基準値	今回結果
ペプシノゲン I		
ペプシノゲン II		
ペプシノゲン I / II		
ヘリコバクター・ピロリ抗体		

今回結果	区分	判定結果【ペプシノゲン陽性判定基準：ペプシノゲン I・I / IIともに基準値外】
○	A群	ペプシノゲン：陰性 ピロリ抗体：陰性 おおむね健康的な胃粘膜ですが、一度は胃の検査を受けるようにして下さい。 自覚症状があれば、消化器内科を受診して下さい。
	B群	ペプシノゲン：陰性 ピロリ抗体：陽性 少し弱った胃粘膜です。ピロリ抗体陽性ですので、消化器内科を受診して下さい。 ピロリ菌の除菌治療をおすすめします。
	C群	ペプシノゲン：陽性 ピロリ抗体：陽性 萎縮がすすんだ弱った胃粘膜と考えられます。消化器内科を受診して下さい。 ピロリ菌の除菌治療をおすすめします。除菌後は、定期的に胃内視鏡検査を受けて下さい。
	D群	ペプシノゲン：陽性 ピロリ抗体：陰性 萎縮が非常にすすんだ胃粘膜と考えられます。 必ず消化器内科を受診し、胃内視鏡検査などの診断を受けてご相談ください。
	E群	除菌後の方 胃がんリスク検査（A B C 分類）は受けないで下さい。 除菌後も胃がん発生のリスクはありますので、定期的に胃内視鏡検査を受けて下さい。

【ピロリ抗体：陽性】の方には除菌をお勧めしていますが、胃内視鏡検査の診断内容によっては保険診療の対象とならないことがあります。また、胃内視鏡検査を実施せず除菌のみ希望される方は自費負担となります。

受診の指示が出た方で、当院ご希望の場合は【予約センター（052-211-7844）】へご連絡下さい。

【その他】

以下に該当する方は正しい胃がんリスク判定が得られない場合があるので、医療機関へご相談下さい。

- ・プロトンポンプ阻害薬（PPI）などの一部の胃薬を服薬中の方
- ・胃切除後の方・腎不全の方
- ・ピロリ菌の除菌治療を受けた方

中日病院 健診センター